

# 放射線治療を受ける患者様へ（肝臓）

上腹部（肝臓）照射パス【22005-00】

患者氏名： \_\_\_\_\_ 様      入院病棟： \_\_\_\_\_ 病棟      主治医： \_\_\_\_\_      受け持ち看護師： \_\_\_\_\_

日付	/ ~ /			
入院日数	1日目	2～13日目		14日目
イベント	入院当日	治療日		退院日
目標 <small>毎日看護師と評価します</small>	<input type="checkbox"/> 治療に対する不安や疑問を医療者に伝えることができる		<input type="checkbox"/> 副作用について理解できる <input type="checkbox"/> 副作用に対する予防行動がとれる <input type="checkbox"/> 副作用症状に対処できる <input type="checkbox"/> 皮膚の保護ができる	
内服 注射	・自宅で内服している薬を確認しますので、看護師にお渡し下さい	<input type="checkbox"/> 入院中に薬剤師より使用薬剤に関する説明・指導があります		
検査	・身長、体重測定をします	<input type="checkbox"/> 症状の変化に合わせて採血やレントゲンの検査をすることがあります。検査があるときには事前にお知らせします		
	・体温、脈拍、血圧測定があります	 		
治療 処置	・放射線治療室で放射線を当てる部分に皮膚に印をつけます(30分程度かかります)	・胃痛が出てくる場合があります。症状により粘膜保護剤が開始になります	・照射部分の皮膚が赤くなったり乾燥して痒みが出てくる場合があります。痒みの症状に合わせて軟膏を処方します	・皮膚が剥けてくる場合があります。皮膚の症状に合わせて軟膏を使用します ・食道や胃の痛みに対し、保護剤や鎮痛剤を使用します
食事 飲水	・食事制限のある方は調整しますので看護師にお知らせ下さい。症状の確認のため食事量を観察します。状況により食事形態を変更しますのでご相談下さい			
清潔	・放射線治療中の皮膚ケアの方法についてパンフレットを元に説明します（準備するもの）低刺激石鹸、泡立てネット			
安静 活動	・外出、外泊には医師の許可が必要です。希望される方は看護師にお知らせ下さい			
説明 指導	・皮膚ケアの方法について別紙を用いて説明します ・皮膚保護のため治療開始後はゆりのある綿製の下着を着用してください ・皮膚の副作用予防のため照射部分には湿布、絆創膏、化粧品、軟膏はつけないでください		<b>退院基準：重篤な副作用がない</b>	
	・医師から治療方針の説明があります。同意書にサインをお願いします ・患者誤認予防のため、リストバンドを着用していただきます	・状況に応じて予定が変更になる場合があります。不明な点がございましたら遠慮無くお尋ね下さい		・医師から退院後の生活について説明があります。家族の同席を希望される方は看護師に申し出てください ・看護師から退院後の生活の注意点や処置について別紙を用いて説明します 【退院日】事務担当が明細書をお持ちします。次回予約票、診察券をお返しします

注) 現時点で考えられる予定であり変更になることがあります